



火山とわく星

地球惑星科学専攻・修士1年

櫻井 亮輔

かがく

科学

「かがく」として見てきたもの



「科学」として見てきたもの

じぶんの「かがく」

ルーツは…

天文・宇宙

宇宙少年団

望遠鏡をつくる

ミニロケットをつくる

幼稚園生～小学生



じぶんの「科学」(≡研究)

入り口は「数学」

高校

ゼータ関数に興味を持つ

ある定理の発見→証明を共同で行う

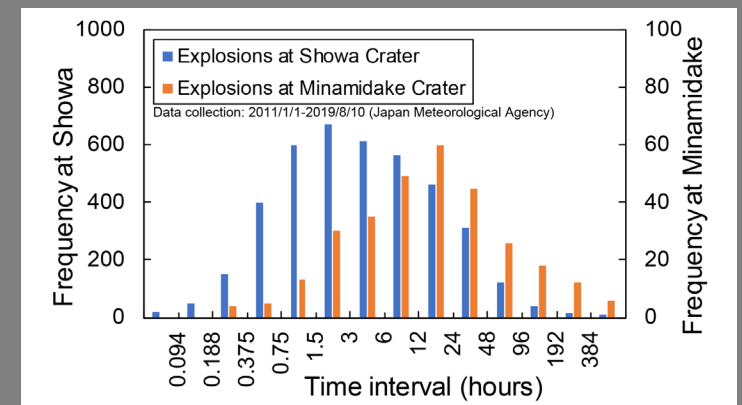
(既出だったが…)

本格的な科学の扉は「地球科学」

大学

火山学の研究室に入る

実験・学会発表・論文(執筆中)

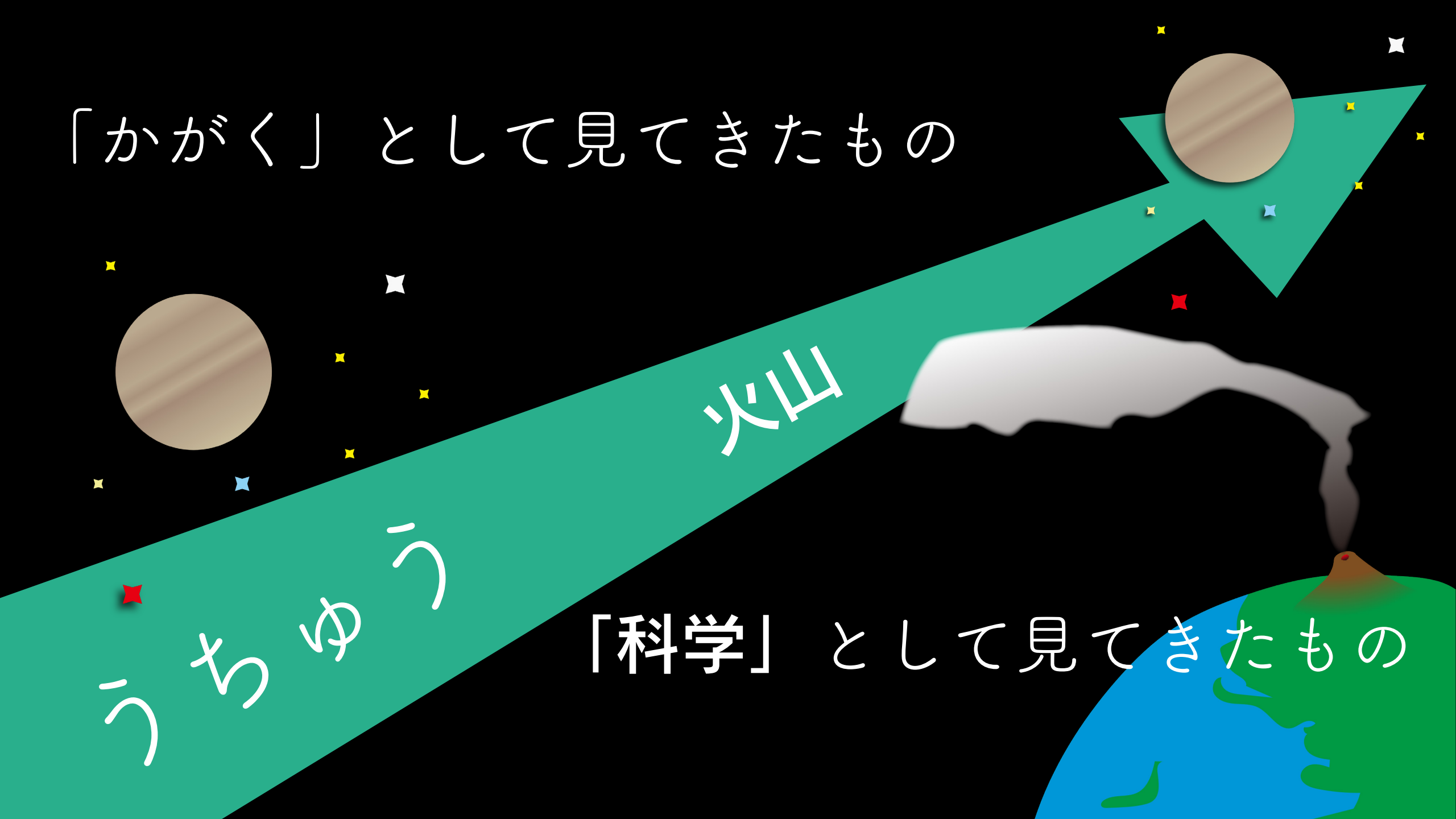


「かがく」として見てきたもの

うちゅう

火山

「科学」として見てきたもの



こんどは

「かがく」としてではなく

「科学」の枠組みの中で**宇宙**や**惑星**捉える

宇宙や惑星を**研究**する「価値」とは？

火山学の「価値」

噴火の完全な予知はできない。

しかし、

噴火中に、今後の遷移を予測することはできるかもしれない。

「科学」が保証する

防災

という価値。



宇宙惑星科学の「価値」

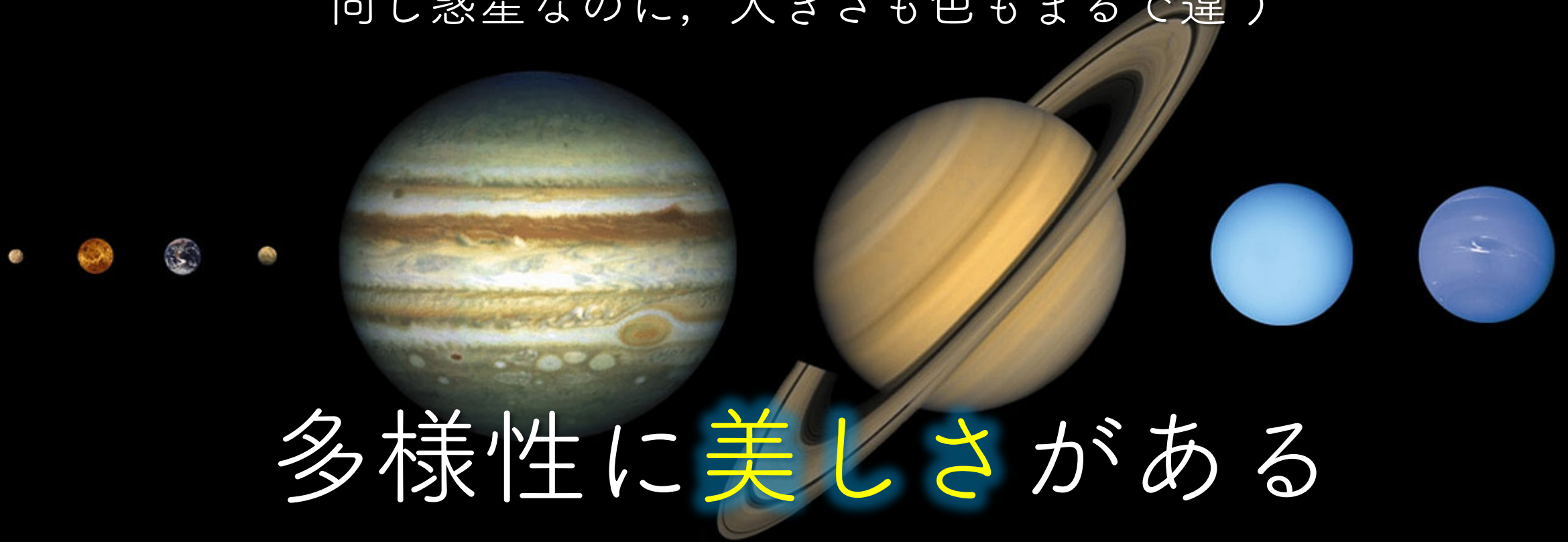
「科学」としての実生活への還元は、正直あまりない

自分の「かがく」が認める **美しさ** という価値はある

なにが **美しい** のだろうか？

わたしの研究：惑星の「レシピ」

同じ惑星なのに、大きさも色もまるで違う



多様性に**美しさ**がある

なぜ？を知りたくなる



火山とわく星

櫻井 亮輔